

事例No.9		
事業名	秋田県立中高一貫教育校（県南地区）整備事業	事例キーワード 建築物への自然素材の活用
事業担当機関	発注：教育庁、工事実施：建設交通部営繕課	
事業期間	平成13年度～平成17年度	
実施場所	秋田県横手市大沢地内	
事業概要	全体事業費	6,332百万円
	工事概要	施設名称：秋田県立横手清陵学院高等学校・横手清陵学院中学校 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨及び木造 建築面積：13,846㎡、延床面積：24,614㎡
	事業の目的	中高一貫教育は、これまでの中学校・高等学校に加えて、児童生徒や保護者が6年間の一貫教育も選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育の実現を目指すものである。6年間の計画的・継続的な教育活動を展開し、「ゆとり」ある学校生活を送ることにより、生徒の個性や創造性を伸ばしていくことができるような、新時代にふさわしい学校を設置する。
の環境配慮	地域の天然素材である木材を活用するため、建築物において木造化の有効な箇所への採用に努めている。	
の施工状況後	普通・特別教室棟（南棟）の2階は大断面集成材による木造として、木のぬくもりを感じる教室を配している。	
図面、写真、説明		
		
外観 外壁に秋田杉羽目板張りを使用		
		
2階廊下 大断面集成材による架構 壁面の仕上げは、シナ合板張り		
		
メディアホール 大空間を構成する大断面集成材の張弦梁 側壁面の仕上げは、杉ルーバー仕上げ		
		
普通教室 照明ボックスに秋田杉集成材を使用		